



開かれた議会推進のためのコミュニケーション誌

表紙シリーズ／雲仙市の子ども

主な内容

P2 平成26年度当初予算決まる

P18 市民の声

P8 常任委員会報告

P20 6月定例会会期日程(案)

P11 市政を問う「一般質問」

予算 272億9千万円

一般会計当初予算は、歳入歳出総額272億9千万円で、前年度と比べると△7億6千万円となっています。新規事業として定住促進対策事業があります。市内に新築住宅を取得した人に対し、5年間奨励金を交付します。福祉医療費支給事業は乳幼児から中学生にまで拡大されました。

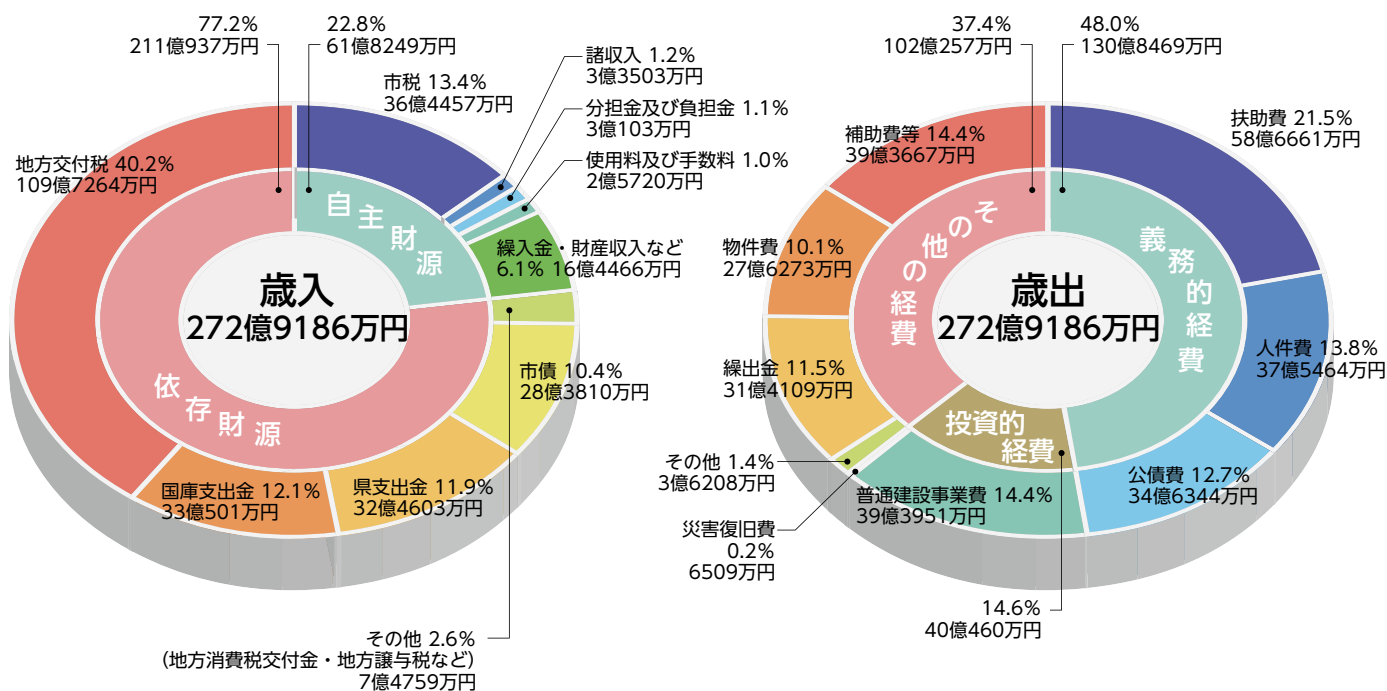
平成25年度補正（第6回）予算は、地方交付税や消費税増税に伴う臨時福祉給付事業補助金などの歳入がありました。歳出としては臨時福祉事業給付金事業、小中学校施設整備事業などです。

予算を年間収支500万円の家庭に置きかえてみると

※端数は一部繰り上げています。

収入		支出	
給料（市税）	67万円	食費（人件費）	69万円
パート収入（使用料・手数料など）	5万円	光熱費など（物件費・補助費）	123万円
親からの援助（交付税・国県支出金）	321万円	医療費（扶助費）	107万円
預金の取り崩し（繰入金）・預金利子（財産収入）	31万円	借金の返済（公債費）	63万円
銀行からの借入（市債）	52万円	家の増改築など（建設事業費など）	73万円
その他	24万円	子どもへの仕送り（他会計への繰出金）	58万円
合計	500万円	その他	7万円
		合計	500万円

予算内訳



平成26年度一般会計当初

定住促進対策事業

予算は平成27年度以降

●事業目的

定住・移住による人口減少対策と子育て世代である若者の経済的負担の軽減策として、新築住宅を取得した者に対し、奨励金を交付する。

●事業概要

事業主体 新築住宅を取得した者

事業内容 新築住宅を取得した者に対し、5年間奨励金を交付。
奨励金（1年間に交付する額）は①と②の合算額

①新たに取得した住宅に係る固定資産税の2分の1に相当する額
（10万円を上限とする）

②同一世帯内に18歳未満の者がいる場合は、1人あたり1万円を加算
【主な要件】

- ・新築住宅を取得し居住した者（取得時点で満55歳以下である者）
- ・本市に5年以上定住することを誓約する者
- ・世帯の者全員に、税の滞納がない者

※住宅とは、床面積が50平方メートル以上280平方メートル以下の建物



福祉医療費支給事業

9,300万1千円

●事業目的

医療費の一部を支給することにより、福祉の向上と定住の促進を図る。

●事業概要

事業主体 雲仙市

事業内容

受給者区分	助成対象を助成内容		
○母子 ○父子	入院 ・ 通院	母子又は父子家庭の母・父 及び18歳未満の子	医療機関毎の1月分の自己負担 (保険診療分) 合計が、 1日800円(月上限1,600円) を超えた額を助成
○乳幼児 ○子ども		乳幼児、小学生から中学生	
○寡婦	入院	寡婦	医療機関毎の1月分の自己負担 (保険診療分) 合計が、 1日1,200円を超えた額を助成

調剤薬局（保険診療分）については、自己負担を控徐せず助成。

小中学校施設整備事業

1億8,631万1千円

●事業目的

学校における児童生徒の危険回避や教育環境改善のため施設の修繕・改修及び充実を図る。

●事業概要

事業主体 雲仙市

- 事業内容
- ①小中学校施設単独整備事業
 - ・児童生徒の危険回避や教育環境改善のため施設等の修繕
 - ②小中学校施設大規模改修事業
 - ・神代小・北串小学校浄化槽改築事業
 - ③小中学校施設環境改善交付金事業
 - ・土黒小学校屋内運動場外壁改修事業（設計）
 - ・南串中学校校舎外壁改修事業（設計）
 - ④小中学校教育環境整備事業
 - ・パソコン教室等パソコン整備事業（愛野小・富津小・南串第一小・南串第二小・愛野中）
 - ・普通教室等壁掛扇風機整備事業（全27小中学校）

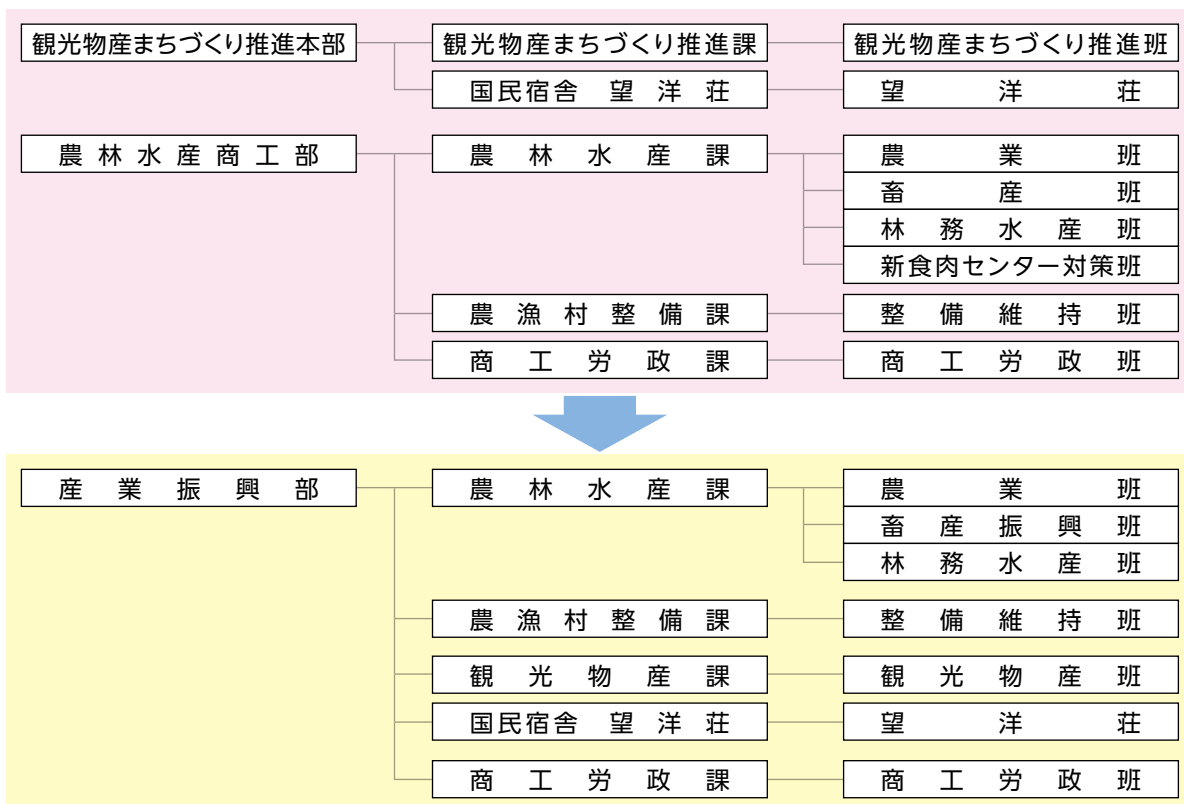


土黒小学校体育館

市の組織が変わりました

雲仙市役所部設置条例の一部改正により、これまでの観光物産まちづくり推進本部と農林水産商工部が統合され、産業振興部となりました。

（まちづくり部門については、建設整備部監理課へ移管されました）



平成25年度補正予算

臨時福祉給付金事業

1億9,484万6千円

●事業の内容（消費税率引上げによる臨時的措置）

◇給付金の名称	臨時福祉給付金
◇給付対象者	平成26年度分市民税（均等割）が課税されない方。 ただし、市民税（均等額）が課税されている方の扶養親族等、生活保護受給者などは除く。
◇給付額	給付対象者一人につき1万円。 うち、老齢基礎年金受給者など一定要件に該当される方一人につき5千円を加算。
◇住民登録基準日	平成26年1月1日現在、市内に住所を有していること。
◇その他	給付対象者からの申請に基づき、支給要件の審査を行い、支給決定後支給する。

子育て世帯臨時特例給付金事業

5,852万7千円

●事業の内容（消費税率引上げによる臨時的措置）

◇給付金の名称	子育て世帯臨時特例給付金
◇給付対象者	平成26年1月分の児童手当の支給対象となる児童の保護者（公務員も含む）。 ただし児童手当の所得制限を超える者、臨時福祉給付金の対象者、生活保護受給者などは除く。
◇給付額	児童手当の支給対象者一人につき1万円。
◇住民登録基準日	平成26年1月1日現在、市内に住所を有していること。
◇その他	給付対象者からの申請に基づき、支給要件の審査を行い、支給決定後支給する。

討 論



賛 成

反 対

◆平成26年度雲仙市一般会計予算案 **可 決**

平成26年度雲仙市一般会計予算案は、昨年度に引き続き中期財政計画に基づく健全財政運営を進めるとともに、総合計画の積極的な推進を図るため、スクラップ&ビルドを念頭に置き、効果的・効率的・持続可能を基本とした予算編成に努められ、雲仙市全域を視野にバランスのとれた予算編成がなされている。特に新規事業では、定住促進事業や福祉医療費支給事業及び通学路の安全対策事業等が予算化されており、本予算案に賛成する。 【浦川 康二 議員】

反対する理由の第1は、諫早湾干拓事業に係る「福岡高裁確定判決」が命じた開門を国が履行しない。予算はこれに沿ったものだ。潮受け堤防の開門なしには、この予算・施策で望むような効果は上がらない。第2は、住宅・店舗リフォーム緊急支援事業では上限15万円の補助額が、上限10万円（商品券）に減らされ、予算総額も一昨年度よりも減額されたままだ。その一方で、雲仙温泉の廃ホテルの解体工事に2億2千万円もの予算が組まれている。

【上田 篤 議員】

◆平成26年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案 **可 決**

議案第17号平成26年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案について賛成の立場にて討論を行なう。国民健康保険税は被保険者の負担増とならないように財政調整基金による財政調整をしてきており、又、法定内繰り入れを行ない、市の一般会計から切り離した独立の会計で経理をしている。国においても消費税増税分は社会保障に全額あてる旨の議論もあっており、日本の皆保険制度が破綻しないようにしっかりと支えていかなければならない。よって賛成する。 【平野 利和 議員】

国民健康保険税は、この5年間で4回も値上げされ、非常に高い。40歳代夫婦と子ども2人、固定資産税なしという条件で給与収入300万円の場合税額は約31万円だ。公務員など比べると負担率は2倍前後になる。国保は医療の最後の砦であり、無職者など低所得者が多く加入している。基金も2億円余あるし、一般会計からの法定外の繰入も活用し、国保税の引下げが求められている。この予算は現国保税を基に組まれたものであり、賛成できない。

【上田 篤 議員】

賛 否 表

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	渡辺 勝美	中村 好治	佐藤 義隆	林田 哲幸	坂本 弘樹	酒井 恭二	平野 利和	浦川 康二	大久保 信一	深堀 善彰	上田 篤	町田 康則	松尾 文昭	森山 繁一	前川 治	小畑 吉時	元村 康一	井上 武久	小田 孝明	町田 誠
平成26年度雲仙市一般会計予算案	可決	18:1	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案	可決	18:1	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	17:2	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●

○賛成 ●反対 ▲欠席

平成26年第1回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案第3号	雲仙市副市長定数条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第4号	雲仙市役所部設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第5号	雲仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	雲仙市子どものいじめの防止に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	雲仙市半島振興対策実施地域指定による固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	雲仙市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	雲仙市営住宅管理条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	雲仙市社会教育委員条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	平成25年度雲仙市一般会計補正予算（第6号）案について	原案可決
議案第13号	平成25年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案第14号	平成25年度雲仙市簡易水道事業特別会計補正予算（第6号）案について	原案可決
議案第15号	平成25年度雲仙市下水道事業特別会計補正予算（第5号）案について	原案可決
議案第16号	平成26年度雲仙市一般会計予算案について	原案可決
議案第17号	平成26年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案について	原案可決
議案第18号	平成26年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案について	原案可決
議案第19号	平成26年度雲仙市簡易水道事業特別会計予算案について	原案可決
議案第20号	平成26年度雲仙市下水道事業特別会計予算案について	原案可決
議案第21号	平成26年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算案について	原案可決
議案第22号	平成26年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算案について	原案可決
議案第23号	平成26年度雲仙市水道事業会計予算案について	原案可決
議案第24号	市道路線の認定について	原案可決
発議第1号	雲仙市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決

付 託 案 件	審議結果
副市長定数条例の一部を改正する条例ほか4件	原案可決
平成25年度一般会計補正予算（第6号）案	原案可決
平成26年度一般会計予算案	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決7件と決定しました。
 主な案件の質疑内容は次のとおりです。

部設置条例の一部を改正する条例

農林水産商工部・観光物産まちづくり推進本部を統合し、産業振興部に改正しようとするもの。

意見 水道課・下水道課及び環境政策課の統合、用地課・工事検査室・管財課などの分掌事務及び組織機構の見直しを行うことにより、円滑な事務ができるのではないかと。

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

質疑 再任用制度の実施により、嘱託職員・臨時職員の雇用への影響が考えられるのではないかと。

答弁 再任用制度は、今年度定年退職者からの無給年金期間をなくするため、国からの要請により実施するもので、少なからず影響があると思われる。

平成25年度一般会計補正予算（第6号）案

質疑 路線バスの運行経費の赤字補填を行い、地域住民の生活に必要な交通路線の維持確保を

総務

図るために地方バス路線維持対策補助金が計上されているが、この補助金の内容及び算出根拠は。

答弁 今回の補正額1388万8千円の補助対象路線の総損失額は約5300万円であり、補助額は、国庫補助・県費補助・市単独補助の対象となる各路線の損失額に対し、それぞれ一定の補助率に基づいて算出している。

質疑 赤字対策として、どのような経営努力をしているのか、またバス及び鉄道を一本化した場合の試算をしたことがあるのか。

答弁 人件費の削減、資産の売却等を実施するなど経営努力に努め、また試算については、バスの増便等での対応可能であれば、赤字の圧縮には繋がると思われるが、今後十分検討していきたい。

平成26年度一般会計予算案

質疑 新規事業である「定住促進対策事業」は、人口減少対策

と子育て世代の若者の経済的負担の軽減策として、新築住宅を取得した者に奨励金を交付し、市内外居住者の定住を促進する

目玉となる事業であり、高く評価するものである。しかしながら手続きが煩雑であり、簡素化する考えはないのか。また補助金の算定基礎に住宅にかかる固定資産税を用いているが、固定資産税は変動することからも、市民にわかりやすい単純明快な算定根拠を取り入れるべきではないかと。

答弁 定住促進対策は雇用環境・住宅環境・生活環境などを総合的に講じていく必要があり、今回は取り組む対策の第一歩として実施するもので、制度については、わかりやすく市民等へ周知することにより、現行の考えに基づき実施したい。また、手続きの簡素化においては、申請者の同意があった場合は、申請書に添付を求める3項目については省略できるように考えている。

現地調査

島原消防署北分署新庁舎建設現場及び市が管理する公園等の視察を実施した。



島原消防署北分署の視察



市内公園の視察

常任委員会報告

付託案件	審議結果
雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例ほか2件	原案可決
平成25年度一般会計補正予算（第6号）案ほか1件	原案可決
平成26年度一般会計予算案ほか3件	原案可決

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決9件と決定しました。
主な案件の質疑内容は次のとおりです。

平成26年度一般会計予算案

主なものとして、老人施設入所事業、民間保育所通常保育事業、生活保護費支給事業、小中学校施設整備事業、国体開催事業などを計上したものです。

意見

狂犬病予防事業において野犬捕獲作業員を2名雇用することであるが、捕獲の強化に加え、飼い犬の生涯飼育、野犬への餌やりの禁止など、自治会長会議等を通じ市民への周知徹底を図ってほしい。

リサイクル推進事業において、市としてごみの分別及びリサイクルを推進しているのであれば、収集されたものがどのようにリサイクルされているのか、ごみカレンダーに掲載するなどして市民にも知らせるべきである。

社会福祉協議会補助金において、地域福祉事業にかかる職員15名分の人件費に充てていることであるが、7町で公平なサービスを提供しているのか運営面の指導に併せ、今後、市の財政も厳しくなることから、補助金の見直しについても検討してほしい。

国見鍋島邸入場料について、入場者数を今年度と同数の1万5千人と見込んでいることであるが、これまで多額の費用をかけて改修を行っており、内部公開も始まったことから、今後は更に入場者を増やし、できる限り入場料で維持管理費を賄えるよう努力してほしい。

みずほすこやかランドの運営について、経営不振、施設の老朽化などさまざまな問題を抱えていることから、施設の継続について市とも協議し、慎重に検討すべきである。

反対討論 国民健康保険税を引き下げるために、国民健康保険特別会計繰出金を増額すべきであり、計上されている金額では不十分であるため反対する。

採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定。

平成26年度国民健康保険特別会計予算案

質疑 国民健康保険税の対前年度比7518万1千円の減額理由について。

答弁 国民健康保険税は所得割、資産割、均等割、平等割により算定するが、所得割額を平成25年度調定額と比較して8099万円の減と見込んでおり、農業所得の落ち込みが影響している。
質疑 滞納繰越分を徴収率13%で計上しているとのことであるが、この率で滞納額は減っていくのか。

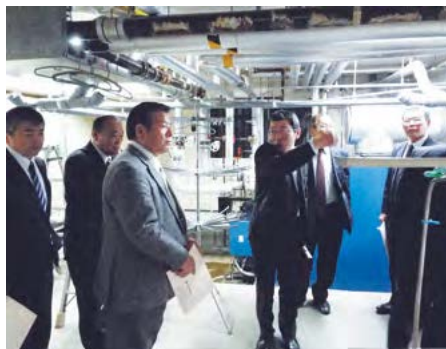
答弁 前年度の実績を踏まえ過大にならないよう積算をしている。滞納処分効果も上がっており、前年度と比較をして滞納額は減少している。

反対討論 今でも国民健康保険税が高くて払えずに苦しんでいる市民がいるにもかかわらず、今年度と同じ税率で予算を組むことには反対する。

採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定。

現地調査

みずほすこやかランド及び遊学の里くにみの視察を実施した。



みずほすこやかランド千年の湯視察



みずほすこやかランドプール視察

付 託 案 件	審議結果
平成25年度一般会計補正予算（第6号）案 ほか2件	原案可決
平成26年度一般会計予算案 ほか4件	原案可決
市道路線の認定 ほか1件	原案可決
TPP交渉にあたって「衆参農林水産委員会の決議を堅持する」ことを求める請願（継続審査分）	審議未了

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決10件、審議未了1件と決定しました。主な意見は次のとおりです。

平成26年度一般会計予算案

質疑 雲仙古湯地区街なみ環境整備事業（パークホテル）の解体工事・公園整備費用が昨年の説明から2倍近くになっている。

この予算は高過ぎる。また、平成26年度において、雲仙市観光協議会はどうなるのか。

答弁 以前はホテルの解体工事費のみ積算しており、施設周辺の影響までは把握していなかった。それを加味し、今年業者に設計を委託したところ、今回の予算になった。

雲仙市観光協議会については、昨年より雲仙・小浜の両温泉観光協会と協議してきた結果、市で引き継げるものは引き継ぎ、解散する予定となっている。

意見 テレビ放送された番組の影響で、小浜温泉は1月・2月の宿泊者数が伸びたと思われる。より効果のあるメディアへの露出・宣伝などを検証し、今後予算を編成してもらいたい。

産業建設

平成26年度下水道事業特別会計予算案

質疑 予算を考えても水洗化率の向上に努めるべきではないのか。

答弁 随時、戸別訪問、HPの活用、チラシの配布などを行っている。

平成26年度国民宿舎事業特別会計予算案

意見 歳出面は努力が伺えるが、予算全体では財政調整基金で歳入の穴埋めをしているように見える。そろそろ民営化を検討すべきではないのか。

ヒルクライムチャレンジシリーズ（議案外）

意見 不明瞭な点が多く、当委員会では先の一般質問や報道関係などの状況も踏まえて協議した結果、本事業の実行委員会の立場を明快にするためにも、司法に委ねた方がよいのではないかと。

答弁 市としては、議会等から

の指摘事項やこれまでの調査結果を総合的に整理したうえで、適正に判断するため、多方面から専門的意見を賜りながら、慎重に検討し、最終的な方向性を示したいと考えている。

現地調査を実施

今回の議案に関連する事業13箇所の現地調査を実施しました。

執行部の懇切丁寧な説明により、平成26年度予定事業を把握することができました。

今後も引き続き事業の早期完成を図るような対応を求めます。



小浜町金浜地区市道路線認定



雲仙地区旧パークホテル解体工事関係等

市政を問う

13名の議員が一般質問

平野 利和…P11
井上 武久…P12
町田 康則…P12
渡辺 勝美…P13
町田 誠…P13

酒井 恭二…P14
上田 篤…P14
松尾 文昭…P15
前川 治…P15
浦川 康二…P16

深堀 善彰…P16
元村 康一…P17
小田 孝明…P17



一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

障がい者支援と医療費

障がい者支援を



ひらの 利和 議員

平野議員 障がいを持った方がパニックになり、人に助けを求めたい時に常備携帯し、提示する事ができる「ヘルプカード」の導入を提案する。

本多市民福祉部長

一般健

常者が障がいのある方の助け等の支援をする場合、非常に有効な手段であり障がいの種類を認識する事が出来て、障がいの程度に応じた支援が可能になると考えているので、導入が可能か研究をしていきたい。

平野議員

医療費の助成を

小・中学生まで拡大する事を提案する。子育てを支援していく事が少子高齢化に歯止め

をして、人口増加に転じるような施策をすべきである。

本多部長

子育て世代の医療費負担の軽減を図り、子どもが健やかに育つ環境を提供する為に、平成26年度より中学生まで拡大し実施する。

医療機関ごとに一日800円、月上限が1600円を差し引いた額を助成するようになる。

平野議員

平成26年度より

助成があるとの事なので、ぜひ雲仙市で子育てをする方が増えてもらいたいと希望する。

(他の質問)

再生可能エネルギー・地域活性化事業・消防団支援法など。



ヘルプカード

補助金交付事務の実態



井上 武久議員
いのうえ たけひさ

補助金交付事務のあり方

井上議員 昨年10月実施された随時監査の報告書で補助金業務が指摘され、前定例会でも質問があったが、疑問点が解消されていない。先ず補助金交付事務の実態を尋ねる。

金澤市長 雲仙地域で結成された実行委員会と市は連携し、大会を開催した。

山本観光物産まちづくり推進本部長

観光振興事業補助金要綱に基づき補助金交付を決定した。

井上議員 本部の負担経費と委員会の負担経費は、大会要綱及び市の要綱に示されている。観光協議会への30万円の補助対象経費は適正か。

山本本部長 事務を観光協議会に委託した。

井上議員 県の要綱では市

が業務をやるべきで、観光協議会に委託した場合、県の補助は支出できない。
また寄付金の約94万円は対象経費から控除すべきでは。
山本本部長 見逃した部分があるが、この金額は現在調査中である。

調査後の対処は

井上議員 不正な会計処理の調査結果の報告は疑問点が多い。

山本本部長 今回の報告は、確認できたもの及び確認できないものを報告した。

井上議員 商品の寄付・領収書の不正発行等で補助金増額の意図が見受けられるが。

山本本部長 調査の中で指摘のとおり、お金が支払われずに領収書の発行がある。

井上議員 調査に限界があるようだが、刑事訴訟法第二三九条第2項では、公務員はその職務を行なうことにより、犯罪があると思料するときは、告発義務が課せられている。

働くママの育児支援は



町田 やすのり議員
まちだ やすのり

病児・病後児保育事業は

町田議員 保護者が働いている場合、病気や病気の回復期にある子どもを、保育所または子どもの自宅を訪問し一時的に保育することで、保護者の仕事と子育ての両立を目的に平成25年新規事業でこの事業は始まった。訪問型は県内初である。これは、雲仙市子育て女性懇談会が全12回の会議を開き、平成24年10月に提言書が出されたことにより始まっている。安心して子育てができる環境づくりを推進するうえで大変良い事業であるが、平成26年1月21日調査では、実際の利用者が訪問型が1人、施設型が20人と聞き、あまりにも少ない。市当局の

怠慢ではないか。

本多市民福祉部長

保育園

へのチラシ配布、幼児健診時の広報活動などで啓発を行い、今後に向けて事業を展開していきたい。

町田議員

雲仙市の女性の就労状況は、25歳から39歳までで約77%あり、県下でも高い状況にある。利用が多くなるよう広報をしてみたい。

住宅等リフォーム助成商品券交付事業は

町田議員

この事業は市民にとっても、商工業者にとっても助かっていると聞くが、今までと違う所は。

酒井副市長

造園と外構工事も対象工事となり、一回りフォーム事業を利用した方も、再度利用できるとし、工事が済み、支払い完了後、実績報告書を上げると、市で引換券を交付し、商工会で商品券に交換する制度となる。

農家経営の安定施策は



わたなべ かつみ
渡辺 勝美 議員

野菜価格安定事業は

渡辺議員 農家経営の安定と所得向上及び雲仙市の農業後継者育成のため、野菜価格安定事業があるが、その事業目的は。

金澤市長 野菜の生産は気象の影響を受けやすく、供給量の変動により価格が不安定と成りやすい。生産者の経営安定と消費者である国民への安定供給に資することを目的として、国及び県では、野菜価格安定対策事業を実施し、生産者が出荷した野菜の価格が一定の水準以下に下落した場合に補給金を交付することとしている。共同出荷組織で

新規予約及び新規増量等を行う場合に限り、生産者等の負担に対して市より30%の負担を行い、農家の経営安定と野菜生産出荷の安定を図っている。

渡辺議員 事業の種類、雲

仙市の対象野菜加入品目は。

酒井副市長 国が2事業、

県が1事業あり、対象野菜の代表的なものでは、馬鈴薯・レタス・タマネギなど14品目である。

渡辺議員 今後の見直し

は、基盤整備事業で増量される品目もあると思うが、雲仙市で生産される農産物を有利販売に繋げるためにも、トップセールスをする考えはあるか。

金澤市長 トップセールス

が有効な手段となるよう、市場や消費者の動向を把握することに努め、より高い効果が得られるよう積極的に行動する。

窓口業務内容の一本化



まちだ まこと
町田 誠 議員

地籍図申請に本人確認は

町田議員 本庁各総合支所

において各種証明書等交付申請時の対応として、本人確認ができる書類が必要と申請書に明記されており、地籍図をとるのに今どき情報化時代に必要なのか。瑞穂支所に行き地籍図の申請を行なった方がいる。担当の職員から、本人確認ができるものの提示を求められ社会保険者証の提示を行なった。職員は次に依頼人に住所のわかるものの提示を求めた。地籍図をとるのに必要なのか。

金澤市長 個人情報記載

がない地籍図などの交付については、本人確認は不要として取り扱ってきている。今回

誤った認識により不必要な本人確認を行っていたことで、市民の方に不快な思いをさせたことに対し心よりお詫びする。

小田瑞穂総合支所長 今回

の事案は、字図を申請され他の証明書の手続と同様の本人確認書類の提示を求め交付した。支所内でも徹底されていなかった。今回当事者のみならず他の方にも提示を求めた事実もあり、今後は全職員に周知徹底を図っていく。



瑞穂総合支所

職員の能力向上施策は



さかい きょうじ
酒井 恭二 議員

新たな広聴活動とは

酒井議員 市民の行政参加の促進と市民意見の市政への反映を目的とした全職員による広聴活動とは。

金澤市長

これまでの広聴活動をやめて、各担当を軸に広聴を実施し、担当職員が問題意識、課題解決の道筋を市民の声をもとに取り組み、全力的に課題解決へつなげるように取り組みたい。

人材育成に重要なものは

酒井議員

人材育成基本方針の中に、管理職におけるマネージメント力の向上とあり、管理監督者の職務への取り組み姿勢や人間性は、職員の意識や職場の雰囲気などに

畑中総務部長

管理職の職務に対する姿勢や人間性が、働きやすい職場環境に非常に重要であり、管理職が先頭に立って部下に手本を示すことの重要性が示してあるものと考えてる。

人口減対策としての婚活対策、企業誘致は

酒井議員

定住促進対策として、新築住宅取得者への奨励金交付事業、福祉医療費助成対象者の拡大が新規事業であるが、婚活支援についての今後の考えは。

近隣政策企画課長

婚活に関しては、市が直接婚活イベント等を実施するのではなく、後方支援を行っていく。

酒井議員

企業立地推進方針を作成し企業誘致の強化とされるが、今後、新たな施策の計画等があるのか。

酒井副市長

今回、誘致企業として農業関連、農業関連施設等を中心とし、用地については埋立地を考えている。

中学生まで医療費助成



うえだ あつし
上田 篤 議員

今回の医療費助成拡充を高く評価

上田議員

「中学卒業までの医療費助成拡充」は市長の大英断であり高く評価する。施策提案の理由は何か。

金澤市長

平成37年には人口が4万人をきり、42年には生産年齢人口（15歳～64歳）が50%をきる。この点から若者世代をターゲットにした定住促進施策が必要と判断した。また、「子育て家庭への経済支援策として医療費や就学などの支援充実」が求められていた点も考慮した。

本多市民福祉部長

今年4月で小・中学生は3770人。助成額は窓口負担額から1日800円を控除した額で、予

算は2342万円である。

上田議員

この施策は、定住促進や少子高齢化社会対策として有効だと思う。乳幼児と同じく中学生まで800円以外の窓口負担のいらぬ「現物給付」にするためにはどうしたらいいか。

本多部長

医師会の理解、他市との統一などが必要だ。単独では非常に難しい。

上田議員

4月から新学期が始まる。制度を早く周知徹底してもらいたい。

本多部長

広報をしっかりやっていく。



入札制度と公民館建設



まつお ふみあき
松尾 文昭 議員

入札制度の基本方針は

松尾議員 入札制度については、透明性、公正性を高めるためとあるが、問題が多すぎる。制度の改善をする考えは。26年度から電子入札が導入されるが、信頼できる透明性の高い制度にしてもらいたい。

金澤市長 入札の透明性、競争性、公正性及び品質の確保を基本とし、公共工事による社会資本整備が地域の経済、雇用、生活などに幅広い影響を及ぼすことに配慮し、入札制度改革を進めていく。

畑中総務部長 電子入札による入札執行の場合、入札参加者は開札時に2名程度参加できるようにし、透明性を図

ろうと考えている。開札結果は開札翌日には公表する。

愛野町公民館建替は

松尾議員 今回地域審議会から、これまでの審議内容をまとめられ、市長に、提言書を出す事になっているが、今後の取り組みは。

近藤政策企画課長 提言書については3月中旬頃に市長に提言し、その内容については十分精査を行い、可能な限り反映できるものは市政に反映したい。愛野コミュニティセンターの建設については、雲仙市の中央の地区で、雲仙市民皆様が、一番集いやすい場所で、立地も十分考慮し、必要な機能・規模を検討する。



愛野町公民館

複合施設の建設は



まえかわ おさむ
前川 治 議員

愛野コミュニティセンター建設計画は

前川議員 コミュニティセンター建設の基本的な考えは、市の施設として建設する考えなのか、愛野町としての施設を建設する考えであるのか。

金澤市長 現施設の規模を基本としながらも、市の中央地区として、まちづくりの拠点とし建設したい。旧町時代の施設ではなく、市としての施設を考えている。

前川議員 どちらともそれのような答弁ではないか。規模が決まらなければ、中は決まらないではないか。

金澤市長 財源措置がどのぐらい可能なかを所管に指示している状況だ。

効率的行政運営

前川議員 4700全事務事業の洗い直しの結果は。

畑中総務部長 23年度よりピアリングを実施し、まず電算単独への取り組みを行った。組織機構の検討は素案を作成しているが、交付税の制度的見直しがされており、再度組織の見直しも考えている。

前川議員 今の財政状況は、中期財政計画に近い状況にあるが、今後は、事業の見直し、歳出の見直しをしなければならぬ。そのためには、選択と集中を徹底すべきと考えるが。

金澤市長 事務事業改善、予算編成のおり歳出の見直しを行なうのはそのとおりの思う。

市長の市政への取組み



うらかわ やすじ
浦川 康二 議員

平成26年度重要施策は

浦川議員 経営感覚を持つて1年間市政に取組まれた成果は。

金澤市長 1年間の公務を通じ懸案事項に対し、新年度の施策は3点の特徴がある。

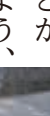
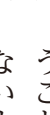
1点目は市の人口減少・少子高齢化対策として、定住促進奨励金に加え、福祉医療費の助成対象者を拡充、2点目は今日までの観光物産行政への取組みを二重整理し、行政組織の見直し・観光協議会及び物販促進協議会の補助金の見直し、3点目は市基幹産業の農林水産業に対し、国・県の手当てが薄い事業へ、市独自策として基盤整備促進や畜産の優良牛の保留や導入を支援。

浦川議員 日本の農業政策を大きく転換する4つの農政改革プランとは。

酒井副市長 1つは農地中間管理機構の創設、農地の有効利用や農業経営の効率化を推進。2つは経営所得安定対策の見直し、米の直接支払交付金や米価変動補填交付金を廃止し、畑作物の直接支払交付金や米・畑作物の収入減少影響緩和対策。3つは水田フル活用と米政策の見直し、米の直接支払交付金を見直し、主要食用米以外の麦、大豆、飼料米などの生産振興を図る。4つは日本型直接支払制度の創設、農地・水保全管理制度を一部変更し、資源向上支払と農地維持支払が新たに創設される。

~4つの改革~

- 農地中間管理機構の創設
- 経営所得安定対策の見直し
- 水田フル活用と米政策の見直し
- 日本型直接支払制度の創設



子育て・水道・道路



ふかほり よしあき
深堀 善彰 議員

子育て支援の考えは

深堀議員 国の動向も含め、子育て世代、地域、市政にとつて、重要な時期と考えるが、今後の本市子育て支援についての考えは。

金澤市長 若者世代の定住化にもつながることから、医療費の助成対象者を中学生までに拡充する。また、平成27年度からの子ども・子育て支援施策に向けて、現在、アンケート調査の集計・分析を進めており、子ども・子育て会議における意見を拝聴しながら、雲仙市子ども・子育て支援事業計画の策定に向け取り組む。

今後の水道事業と道路整備は

深堀議員 水道の漏水、道路のアスファルト舗装のひび割れ等の劣化、共に老朽化が原因だが、今後の対策は。

金澤市長 道路・水道は、双方とも市民生活の根底を支える重要な施設である。平成29年から水道事業会計は、一本化を図る大前提があり、建設整備部内で更に協議、調整を深めて対応する。

野口建設整備部長 漏水補修工事による路面劣化の激しい路線を優先に、水道課、道路河川課双方にて実施時期の協議を行い、舗装改修後に水道管布設工事を行うことができないよう、十分に調整し維持補修を行う。



安定した財政運営を



もとむら やすかず
元村 康一 議員

各種補助金等の見直しは

一元村議員 今後の財政運営

は厳しくなっていく、財政構造が悪化し、窮迫すればするほど補助金等の抑制合理化、効力化は当然だと思ふ。全ての補助金について精査し、見直しをする考えはないか。

畑中総務部長 26年度の補助金は189件、金額で約27億4300万円になっている。見直しを各部署で徹底してやっていく。

多目的ホールの建設は

一元村議員 小浜町にとって

はスポーツの振興と低迷する観光産業や、地域産業の活性化を図るためには、多目的

ホールの建設が是非必要である。

金澤市長 地元の施設整備の熱意や、必要性は認識している。今後、慎重に検討する。

公立新小浜病院の新築移転場所は

一元村議員 埋立地が建設予定候補地となっているが、地震による液状化や、津波の問題がある。また、小浜町内の21団体から他の場所での要望書が提出されているが。

金澤市長 住民の気持は理解しており、今から始まる協議の場で検討し、判断したい。

金浜最終処分場の今後は

一元村議員 グラウンドゴルフ場や広場として、早急に用地を整備し利用させるべきと考えるが。

金澤市長 一時利用は可能だと判断しており、準備を進めたい。

信用・信頼はどこに



おだ こうめい
小田 孝明 議員

ヒルクライムチャレンジシリーズ2012雲仙普賢岳大会は

小田議員 誰が計画して、

いくらの参加料で募集したのか。

山本観光物産まちづくり推進本部長

ヒルクライム本部（東京）が6月18日から8月20日までインターネットで参加申し込みを受付し、参加料6千円を受領している。

小田議員 大会の主催者はヒルクライム本部ということか。

山本本部長 ヒルクライム

チャレンジシリーズ雲仙普賢岳大会実行委員会が主催者である。

小田議員 参加者を受付け、参加料を受領しているヒルクライム本部から雲仙普賢

岳大会実行委員会に委託されたようなものだ。

大会実行委員会の補助金実績報告書では残額はゼロになっている。

監査委員から指摘を受けた後の現金出納簿では支出のうち、寄付を受けた38件ぐらいで150万円ほど残っていることになるが説明できていない。

金澤市長 私自身この事業

に関しては監査委員から報告を受ける前から極めて強い危機感を持っていたため、この事業の精査された内容について調査を命じた。今、私は監査委員から受けた指摘に対し、庁内調査検討委員会の報告からは、一定の方針を示すとか、監査委員に対し報告することは現在不可能である。
小田議員 市長の真意が理解できた。

(他の質問)

- ・小浜町「浜の湯」のレジオネラ菌発生等について
- ・市長の施政方針の定住促進対策について

市民の声



市民の皆様から「議会だより」にいただいたご意見やご感想をご紹介します。

(文章は抜粋を掲載しています)

「議会だより」を読まれた感想やお気づきの点

● 中学校の統合。好きな部活がやれたり、多くの中で切磋琢磨できるメリットがある反面、我が子は小浜中学校へ、隣の子は南申中学校へ進学していくなど、地域を別つデメリットを残してしまつた。

当該校、北申中学校の保護者が最後まで、ただのひとりも賛成と断言し切れなかつた現状を議員の皆さんはどのように受け止められたらどうか。今後の小規模小学校と地域の関係がどうあるべきか注視していききたい。

(小浜町・川村公良さん)

「議会だより」を読まれた感想やお気づきの点

● 住み良い雲仙市を考えると、くださつて、ありがとうございます。

議会への意見や質問

● 年金暮らしの1人世帯にとつて、浄化槽のくみとり年1回は負担が多過ぎます。補助金が出るのですが、皆様の税金なので税金の使い過ぎで私も払い過ぎです。1人で住んでも5人で住んでも年1回のくみとりは大変困ります。

(国見町・酒井良盛さん)

市民の皆様のお待ちしています。

(19ページをご参照ください)

議会広報編集特別委員会研修



平成26年2月3日～4日、広報編集特別委員会は福岡県福津市と福岡県須恵町の2市町の「議会だより」の編集について研修を実施した。

表紙の写真は委員で撮影し、テーマに沿ってシリーズ化し、子ども、花などのテーマで作成されていた。

ページの割合は、空白が20%、写真が20%、文字が60%の構成で市民に読んでいただく広報誌に取り組んでいた。

今回の研修を活かした「議会だより」を市民の皆様提供していきたい。

議会用語解説

継続審査とは

会議に付された事件については、当該会期中に議了できず、特に会議で議決して付託を受けた委員会が閉会中に引き続き審査を行うことをいう。

審議事件の中には、事件自体の性質、背景となっている事業の変更、政治的配慮などから、当該会期中に結論を得るに至らず、しかも会期延長をしてまで結論を出す緊急性もないような場合もある。そのような場合には、例外的に継続して審査することを認めることが実情に沿うものといえる。

問1 「議会だより」を読まれての感想や、お気づきの点などあればお書きください。

問2 議会への意見や質問などお寄せください。

ご協力ありがとうございました。

議会へのご意見・ご感想をお寄せください！



雲仙市議会では、市民の皆様から広くご意見を伺うため、議会だよりに返信用ハガキを掲載しています。

議会だよりに読まれての感想や議会に対するご意見等をご記入の上、ご送付ください。(お手数ですが、52円切手をお貼りください)

いただいたご意見等は、議会だよりに掲載する場合がありますので、ご了承ください。

議会を傍聴してみませんか？

平成26年第2回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は
6月5日（木）～6月27日（金）です

■一般質問	6月 9日（月）～12日（木）
■議案質疑	6月16日（月）
■委員会	
文教厚生常任委員会	6月17日（火）、18日（水）
産業建設常任委員会	6月19日（木）、20日（金）
総務常任委員会	6月23日（月）、24日（火）



※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。
※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

編集後記

今年の桜は、アツという間に満開となり、アツという間に散ってしまいました。さぞやガッカリされた方も多いことでしょう。自然の営みは人間の思う通りにはならないものですね。花見時の風雨ぐらいなら「また、来年…」ですみませんが、東日本大震災のような災害はそうはいきません。しかし、「三陸鉄道全線復旧」のニュースを聞いて、「人間はたくましいな」と再認識しました。こちらも負けずにがんばらなくては。

（上田 篤）



議会広報編集特別委員会

委員長 浦川康二
副委員長 佐藤義隆
委員 上田 篤、林田哲幸
中村好治、渡辺勝美

郵便はがき

8 5 9 1 1 0 7

お手数ですが
52円切手を
お貼り下さい

長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

雲仙市役所 議会事務局
「議会広報編集特別委員会」 行

（議会だより38号）

ふりがな
ご氏名

ご住所

電話番号()-()-()



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。